

インテル® デスクトップ ボード D850EMD2 / D850EMV2 クイック リファレンス

本書は、デスクトップ ボードの取り付けおよび設定の経験を持つ技術者を対象に作成されています。

はじめに

警告および注意	3
安全性および規制について	3

デスクトップ ボードのコンポーネント

D850EMD2 ボードのコンポーネント	4
D850EMV2 ボードのコンポーネント	4

対応コンポーネント

プロセッサ	6
メモリ モジュール必要条件	6

取り付け手順

1 I/O シールドの取り付け	7
2 デスクトップ ボードの取り付け	8
3 プロセッサの取り付け	10
4 ファンヒートシンクの取り付け	10
5 メモリ モジュールの取り付け	11
6 AGP カードの取り付け	12
7 デスクトップボードとファンの接続	13
8 IDE ケーブルの接続	14

BIOS コンフィギュレーション ジャンパの設定

BIOS Setup プログラムについて いくつかの参考

インテル® Express Installer CD-ROM の内容

- 製品保証規定
- インテル® Express Installer
- *Inte® Desktop Boards D850EMD2 and D850EMV2 Product Guide (英文)*
- ソフトウェア ユティリティおよびドライバ
- ソフトウェア使用許諾契約書
- Readme ファイル

書類番号 : A85187J-002J

困ったときには

製品サポート情報は、次のインテル Web サイトで入手できます。

<http://support.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/>

Web サイトでは、次の情報をご提供しています。

- インテル® デスクトップ ボード D850EMD2 / D850EMV2 製品技術仕様 (TPS)
- インテル® デスクトップ ボード D850EMD2 / D850EMV2 仕様アップデート

必要な情報が Web サイトに見つからない場合は、製品購入店にお問い合わせください。インテル Web サイトには、インテル カスタマ サポートの電話番号 (0120-868686) も掲載されています。

本書に掲載されている情報は、インテル® 製品に関するものです。本書は、明示的にも暗示的にも、また禁反言によるとよらずにかかわらず、いかなる知的財産権のライセンスを許諾するためのものではありません。製品に付属の売買契約書『Intel's Terms and Conditions of Sale』に規定されている場合を除き、インテルはいかなる責を負うものではなく、またインテル製品の販売および/または使用に関する明示または黙示の保証 (特定目的への適合性、商品性に関する保証、第三者の特許権、著作権、その他、知的所有権を侵害していないことへの責任または保証を含む) にも一切応じないものとし、インテル製品は、医療、救命、延命措置などの目的に使用することを前提としたものではありません。インテル製品の仕様および製品に関する文書は予告なく変更されることがあります。

D850EMD2 および D850EMV2 デスクトップ ボードには、設計上の欠陥、または発行された仕様とは異なる「エラッタ」として知られる誤りがある可能性があります。現在特定されているエラッタは、ご希望により入手することができます。

注文番号の付けられた資料、本書で参照された資料、その他のインテルの資料は、インテル Web サイト (<http://www.intel.com>) から入手できます。

インテルおよび Pentium は、Intel Corporation、および米国とその他の国の関連会社の商標および登録商標です。

† それ以外の名前およびブランドは、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright © 2002, Intel Corporation

はじめに

警告および注意



WARNING

ケーブルを接続または取り外し、ボードのコンポーネントの取り付けまたは取り外しを行う際には、作業の前に必ず AC 電源からボードの電源を取り外してください。電源を入れたまま作業を行うと、ケガや、機器が損傷の原因となる可能性があります。デスクトップ ボードの回路によっては、フロント パネルの電源スイッチがオフになっても動作するものがあります。



CAUTION

静電気放電 (ESD) は、デスクトップ ボードのコンポーネント損傷の原因となります。静電気対策の施された作業場で、ボードの取り付けを行ってください。静電気対策の施された作業場がない場合は、帯電防止用リストストラップを着用するか、作業を行う前に、帯電防止用パッケージの表面に触れるようにしてください。

安全性および規制について:

D850EMD2 / D850EMV2 デスクトップ ボードに適用される規制準拠に関する文書、製品認証マーク、安全性および電磁適合性 (EMC) の規格および規制については、「*Intel Desktop Boards D850EMD2 and D850EMV2 Product Guide (英文)*」を参照してください。

バッテリー交換に関する警告ラベル: ラベルは、シャーシ内部のバッテリー近くの見えやすい場所に貼ってください。ただし、ボード自体には貼らないでください。

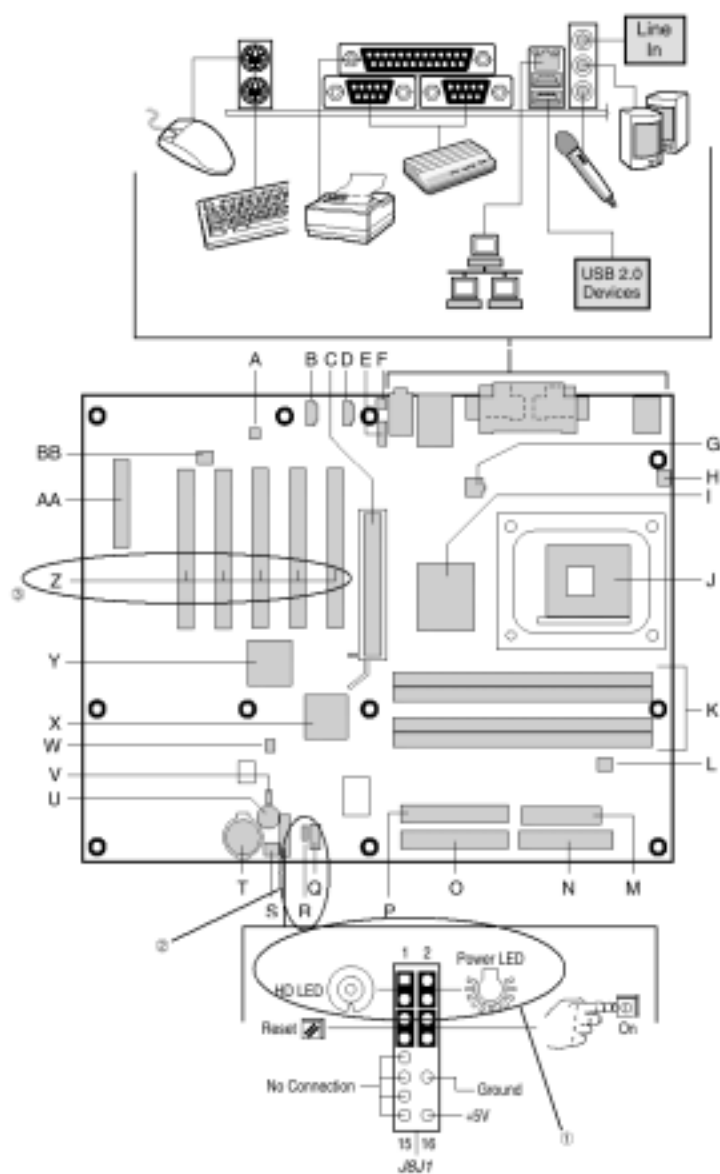
使用目的: 本製品は、家庭用またはオフィス用情報技術機器 (I.T.E) として、適切なコンピュータ シャーシにインストールされた場合に対して評価されています。その他の使用目的に関しては、別途評価が必要です。



NOTES

特に示されていない場合は、説明には D850EMV2 ボードの図が使用されています。

デスクトップ ボードのコンポーネント



Power LED、HD LED コネクタには、極性があります。LED が点灯（点滅）しない場合、極性を正しく接続していない可能性があります。また、Power SW、Reset SW には、極性はありません。

筐体の種類によっては、Power LED コネクタの形状があわない場合があります。その場合、図中（R）の Power LED / Sleep コネクタを用品です。

図中の PCI スロット（Z）については、D850EMV2 は 5 スロット、D850EMD2 は 3 スロットとなります。

続く

デスクトップ ボードのコンポーネント (続き)

A	ADI AD1885 オーディオ コーデック	P	セカンダリ IDE コネクタ
B	予備入力コネクタ (ATAPI)	Q	フロント パネル USB コネクタ
C	AGP コネクタ (1.5V 仕様)	R	Power/スリープ LED コネクタ
D	CD-ROM コネクタ (ATAPI)	S	シャーシ ファン コネクタ (ファン 2) (ファン回転検知機能付)
E	フロント パネル オーディオ コネクタ	T	バッテリー
F	シャーシ開口検出機能コネクタ	U	スピーカ
G	12 V プロセッサ電圧コネクタ	V	BIOS コンフィギュレーション ジャンパ
H	プロセッサ ファン コネクタ (CPU ファン) (ファン回転検知機能付)	W	SCSI ハード ドライブ Activity LED コネクタ
I	インテル® 82850E メモリ コントローラ ハブ (MCH)	X	インテル® 82801BA I/O コントローラ ハブ (ICH2)
J	プロセッサ ソケット	Y	オンボード USB2.0 ホストコントローラ
K	RIMM ソケット	Z	PCI バス アドイン カード コネクタ
L	RIMM ファン コネクタ (ファン 1)	AA	Communication and Networking Riser (CNR) (オプション)
M	電源コネクタ	BB	シャーシ ファン (ファン 3) (注) D850EMV2 のみ
N	フロッピ ディスク ドライブ コネクタ		
O	プライマリ IDE コネクタ		



CAUTION

内部のコネクタの多くは、コンピュータ シャーシ内に設置されたファン、周辺機器などのデバイスに、電力 (DC +5 V、DC +12 V など) を供給しています。これらのコネクタは、過電流防止対策が施されていません。コンピュータシャーシ外部のデバイスに電力を供給するために、これらのコネクタを使用しないでください。外部デバイスの故障によって、コンピュータおよび接続ケーブルに損傷を与えるだけでなく、外部デバイス自体に損傷を与える原因となります。

対応コンポーネント

プロセッサ



CAUTION

ATX12V 電源を使用しなかったり、補助電源(12V プロセッサ電源コネクタ等)の配線を D850EMD2 または D850EMV2 ボードにつながなかったりした場合は、デスクトップボードが損傷する可能性があります。

ATX12V 電源についての詳細は、CD-ROM の「Intel Desktop Boards D850EMD2 and D850EMV2 Product Guide (英文)」を参照してください。

以下のプロセッサをサポートしています。

プロセッサ タイプ	プロセッサ周波数	システム バス周波数	L2 キャッシュ
インテル® Pentium 4 プロセッサ mPGA-478pin パッケージ(0.13u プロセス)	2.4B、 2.26 GHz	533 MHz	512KB
インテル® Pentium 4 プロセッサ mPGA-478pin パッケージ(0.13u プロセス)	2.4、 2.2、 2A、 1.8A、 1.6A GHz	400 MHz	512KB
インテル® Pentium 4 プロセッサ mPGA-478pin パッケージ(0.18u プロセス)	1.5、 1.6、 1.7、 1.8、 1.9、 2.0GHz	400 MHz	256KB

D850EMD2 および D850EMV2 ボードがサポートするプロセッサの最新情報については、次の Intel Web サイトを参照してください。

<http://support.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/>

メモリ モジュール必要条件

ボードには、2.5 V メモリ モジュール用ソケットが 4 つあります。これらのソケットは、ダイレクト ランバス DRAM (RDRAM) デバイスを使用する RIMM をサポートしています。

ボードは、以下のメモリの機能をサポートしています。

- チャンネル毎に最大 32 の RDRAM デバイス
- 128/144 メガビットまたは 256/288 メガビット テクノロジーを使用した最小 128 MB ~ 最大 2 GB のメモリ構成
- PC600 または PC800 準拠 RDRAM
- シングルサイドまたはダブルサイド RIMM モジュール
- SPD (Serial Presence Detect) メモリのみ
- ECC および non-ECC をサポート



NOTES

これらのメモリ必要条件をサポートするベンダについては、Intel Web サイトの D850EMD2 および D850EMV2 のリンクを参照してください。

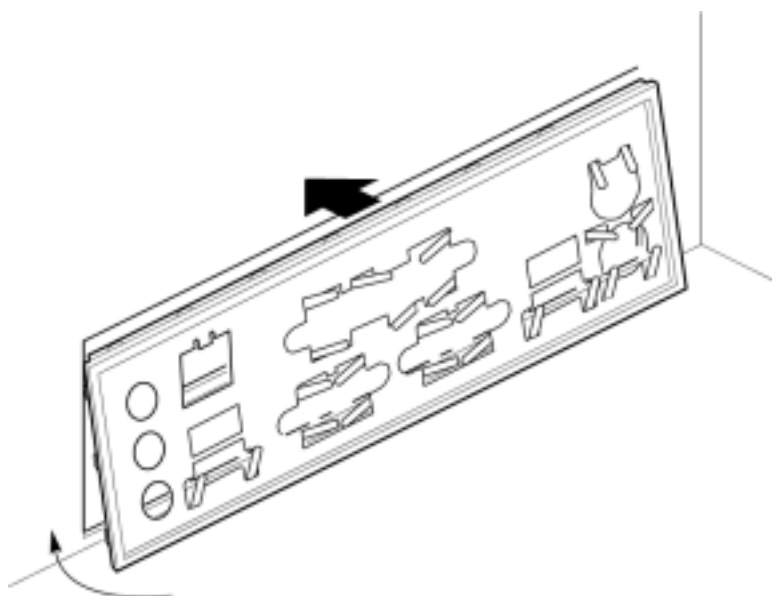
<http://support.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/>

取り付け手順

1 I/O シールドの取り付け

ボードには、I/O シールドが同梱されています。I/O シールドは無線周波数の送波を防ぎます。これは放射電磁波（EMI）認証試験を通過するために必須となる条件です。さらに、内部のコンポーネントをゴミや異物から防ぐとともに、シャーシ内部の空気の流れを助けます。

シャーシにボードを取り付ける前に、I/O シールドを設置してください。下図のように、シャーシ内にシールドを設置します。シールドを押して、しっかりと正しい位置に収まるようにします。シールドがうまく収まらない場合は、シャーシの販売業者から適切なサイズのシールドを入手してください。



QM12116

2 デスクトップ ボードの取り付け

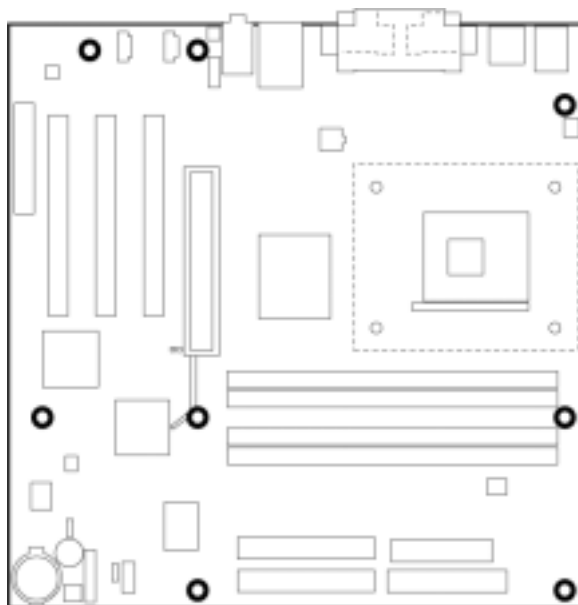


CAUTION

ATX12V 電源を使用しなかったり、補助電源（12V プロセッサ電源等）の配線を D850EMD2 または D850EMV2 ボードにつなげなかった場合は、デスクトップ ボードが損傷する可能性があります。

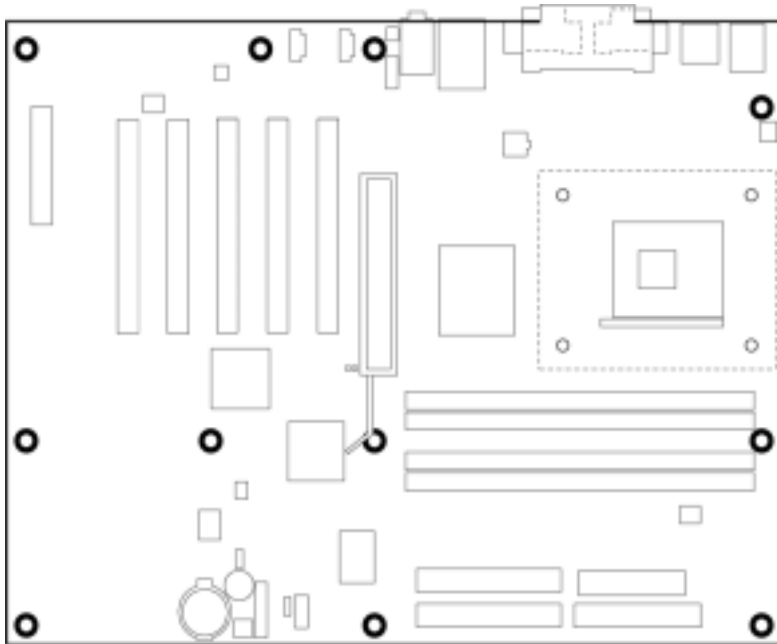
ATX12V 電源についての詳細は、CD-ROM の「Intel Desktop Boards D850EMD2 and D850EMV2 Product Guide（英文）」を参照してください。

ボードの取り付けおよび取り外し手順の詳細については、シャーシのマニュアルを参照してください。D850EMD2 ボードの場合は 8 個、D850EMV2 ボードの場合は 11 個のねじと絶縁ワッシャを用いて、ボードをシャーシに留め付けます。ボードの取り付け穴の位置は、それぞれ以下の通りです。



CM11831

D850EMD2 ボードの取り付け穴位置

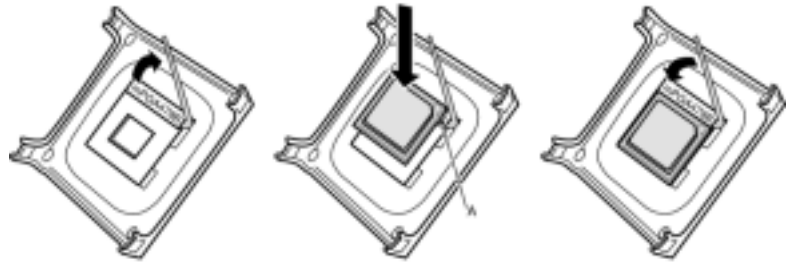


QM1217B

D850EMV2 ボードの取り付け穴位置

3 プロセッサの取り付け

1. 本書 3 ページの「はじめに」に記載されている注意事項をよくお読みの上、作業を開始してください。
2. プロセッサ ソケット レバーを持ち上げます。
3. プロセッサの三角形のマーク (A) が付いている角と、ソケットのレバーが付いている角とが合うように、プロセッサを取り付けます。
4. レバーを元に戻します。



CM12576

4 ファン ヒートシンクの取り付け

ファン ヒートシンクの取り付け手順については、ボックス プロセッサの取扱説明書か、次のインテル Web サイトを参照してください。

<http://support.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/>

5 メモリ モジュールの取り付け



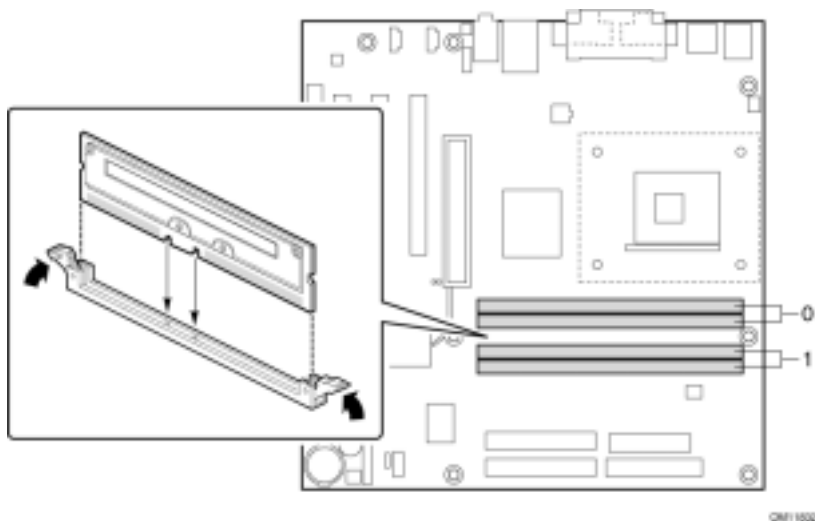
CAUTION

使用しないメモリ ソケットに Continuity RIMM (CRIMM) を装着しておかないと、ボードはブートしません。

RIMM を装着するには、強い力が必要です。RIMM を装着するときには、ボードがたわまないように注意してください。

まず、Bank 0 に RIMM を装着します。これで希望のメモリ コンフィギュレーションが得られる場合は、CRIMM を Bank 1 に装着します。

Bank 1 にメモリを装着する場合は、装着する RIMM モジュールは、サイズおよび密度が互いに同一で、Bank 0 の RIMM モジュールと速度の一致するものでなければなりません。たとえば、Bank 0 に PC800 RDRAM の 128 MB RIMM を 2 つ装着した場合、Bank 1 には、同様に PC800 DRAM を装着する必要がありますが、64 MB または 128 MB などの RIMM モジュールを使用することもできます。



6 AGP カードの取り付け



NOTE

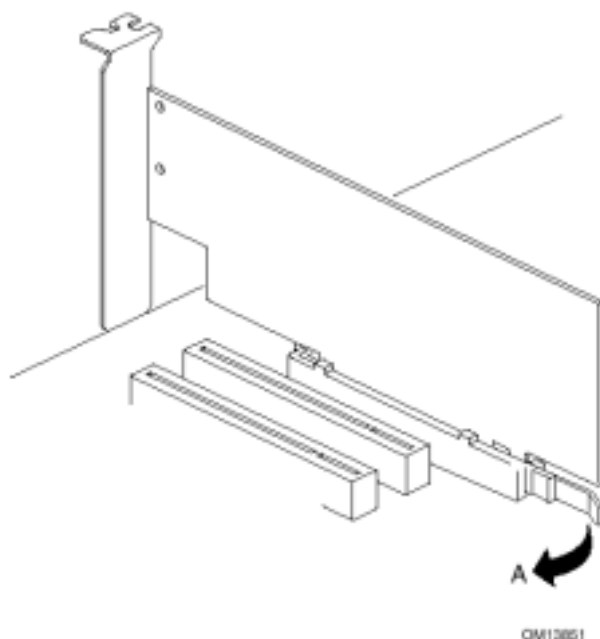
D850EMD2 および D850EMV2 ボードには、1.5 V AGP カードのみが使用できます。

リテンション ノッチが付いている AGP カードの場合は、以下の手順に従ってください。デスクトップボード D850EMD2 および D850EMV2 ボードにはリテンションメカニズム付きの AGP コネクタがついています。

AGP カードを取り付ける場合は、以下の手順に従います。

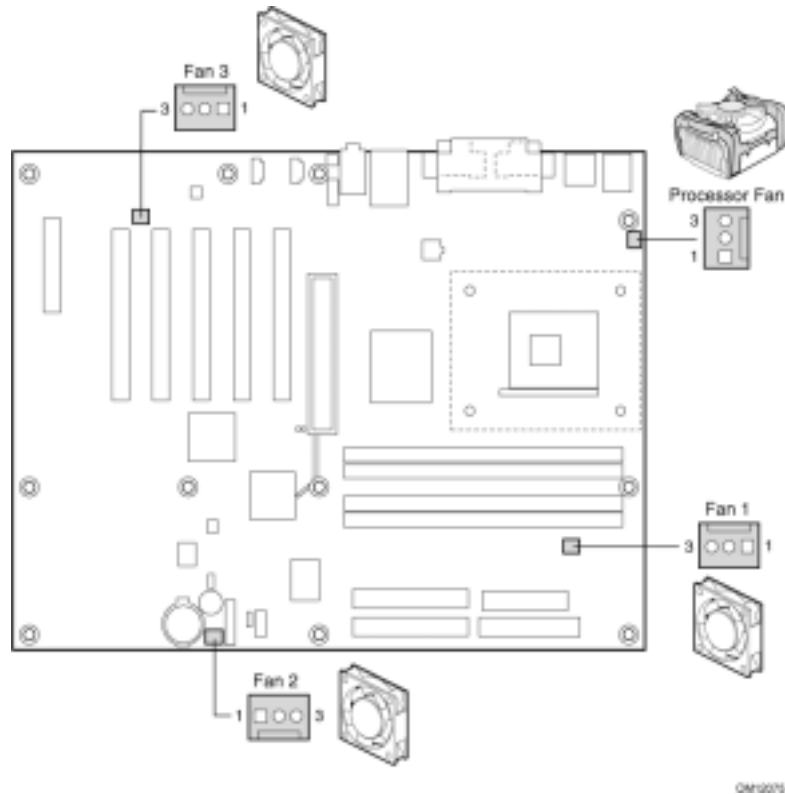
1. 本書 3 ページの「はじめに」に記載されている注意事項をよくお読みの上、作業を開始してください。
2. AGP カードを AGP コネクタに置きます。
3. カードがコネクタにしっかりと収まり、リテンション ノッチがリテンション メカニズム ピンの下にはまるまで、カードをコネクタに押し込みます。
4. カードの金属製ブラケットを、シャーシのバック パネルにねじで留め付けます。

AGP カードを取りはずす場合は、リテンションメカニズムのレバー（図中の A）を矢印方向に押しながら AGP カードを慎重に取り外します。



7 デスクトップボードとファンの接続

下図に、ファン コネクタの位置を示します。プロセッサのファン ヒートシンク ケーブルを、ボードのプロセッサ ファン コネクタに接続します。シャーシ ファン ケーブルを、下図のようにボードのコネクタに接続します。プロセッサ ファンおよびファン 2 は、インテル Active Monitor ソフトウェアによってモニタされます。



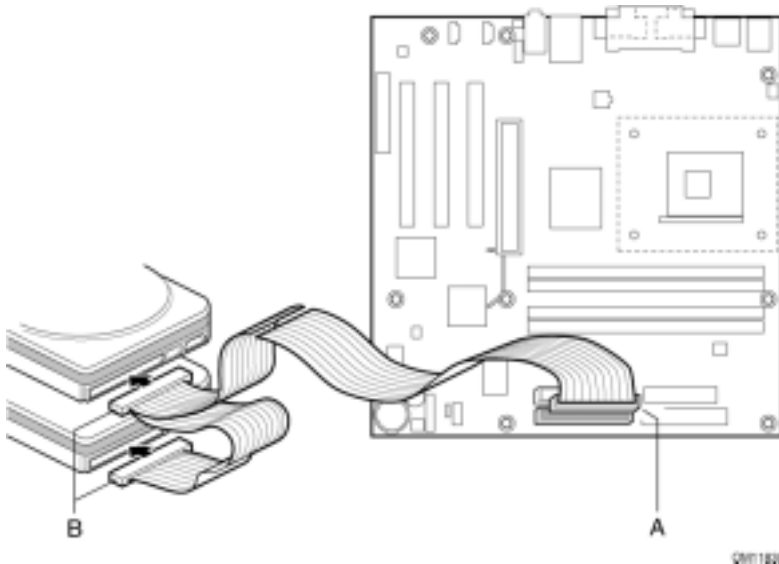
D850EMV2 ボードのファン コネクタ
(注：D850EMD2 には、図中の FAN3 はありません)

8 IDE ケーブルの接続

インテル® ボックス デスクトップ ボードには、2本の IDE ケーブルが付属しています。どちらのケーブルも、2つのドライブをボードに接続することができます。ケーブルは、Ultra DMA-33 (40 ピン) または ATA-66/100 (40 ピン、80 コンダクタ) 転送プロトコルをサポートしています。また、これより遅い IDE 転送プロトコルを使用するドライブに対する下位互換性もあります。

ケーブルを正しく機能させるためには、下図のように接続してください。

1. 「本書 3 ページの「はじめに」に記載されている注意事項をよくお読みの上、作業を開始してください。
2. ケーブルのシングル コネクタ (A) をボードに接続します。
3. 2 つに分かれているコネクタ (B) をドライブに接続します。

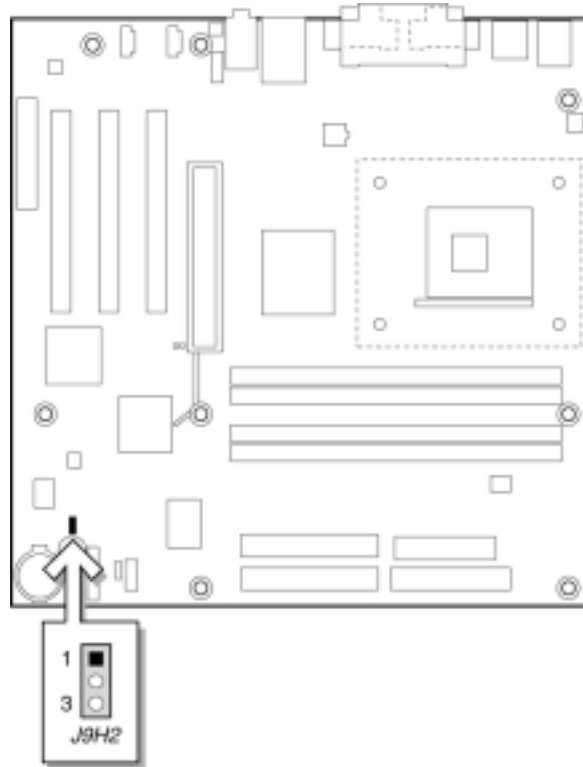


BIOS コンフィギュレーション ジャンパの設定



CAUTION



ジャンパ ブロックの設定を変更する前には必ず、電源を切り、コンピュータから電源コードを抜いてください。電源が入ったままでジャンパを変更すると、コンピュータの動作に支障をきたす原因となります。



CM11636

BIOS コンフィギュレーション ジャンパ (J9H2) によって、BIOS Setup プログラムの 3 つのモードが設定されます。次の表に、BIOS Setup コンフィギュレーション ジャンパ の設定について示します。

BIOS Setup コンフィギュレーション ジャンパの設定

ジャンパ位置	モード	内容
 1 3	Normal (デフォルト)	BIOS は、現在の設定および起動時のパスワードを使用します (通常使用)。
 1 3	Configure	Power-On Self-Test (POST) の実行後、BIOS は Maintenance Menu を表示し ます (OS は起動しません)。CPU の周波 数設定、パスワードクリア等このモード を使用します。
 1 3	Recovery	BIOS アップデート失敗時に、BIOS を復 元させるモードです。画面には何も表示 されませんが、スピーカ音で作業確認し ます。BIOS のアップグレードまたは復 旧手順については、インテル Express Installer CD-ROM の「Intel Desktop Boards D850EMD2 and D850EMV2 Product Guide (英文)」を参照してくだ さい。

BIOS Setup プログラムについて いくつかの参考

- 1) オーディオ インターフェイスを無効にするには、[Advanced]メニューの [Peripheral Configuration]サブメニューで、[Audio Device]を[Disabled]にします。
- 2) LAN インターフェイスを無効にするには、[Advanced]メニューの [Peripheral Configuration]サブメニューで、[LAN Device]を[Disabled]にします。
- 3) BIOS Setup の最新設定値は、「Intel Desktop Boards D850EMD2 and D850EMV2 Product Guide (英文)」、または次のインテル Web サイトでご確認いただけます。
<http://support.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/>